



こしがや景観まちづくりニュースレター vol.3

越谷市景観市民懇談会 第3回開催報告

開催日時：2010年10月9日(土) 13:00～16:00
場所：中央市民会館 4階
当日参加者：26人

越谷市景観市民懇談会 第3回開催報告

Greetingーごあいさつー

□景観市民懇談会とは？

平成16年に施行された景観法に基づき、越谷市は平成21年に景観行政団体に移行しました。景観行政団体になると、景観法に基づいた、景観計画に策定をはじめ、地域の特性に応じた風景を守る様々な取り組みを市が独自に行うことができます。

そこで「越谷らしさ」をいかした良好な景観形成が実現できる景観計画の策定に向けて、この懇談会では、ワークショップ形式により、市内の各地区の景観の将来像や景観を構成する要素のデザインの基調、実現方策などを住民の方々と大学生が一緒になって議論しました。

Reviewー第2回の成果ー

第1回《8/21(土)》で地区ごとに選定したまち歩きルートを、各班で後日歩いていただきました。

※まち歩き実施日…8/22(日)～9/17(金)

第2回《9/18(土)》では、そのルートについて振り返りながら、各地区のモデルルートを提案し、それとともに地区の景観の目標像を話し合いました。

その結果、地区ごとに特徴がはっきりしてきたため、地区コンセプトをグループ討論から導き出しました。またキーフレーズを兼ねて提案することにより、コンセプトに具体性を持たせ、今後の越谷市をどう発展させていくかというアクションプランの軸にしました。

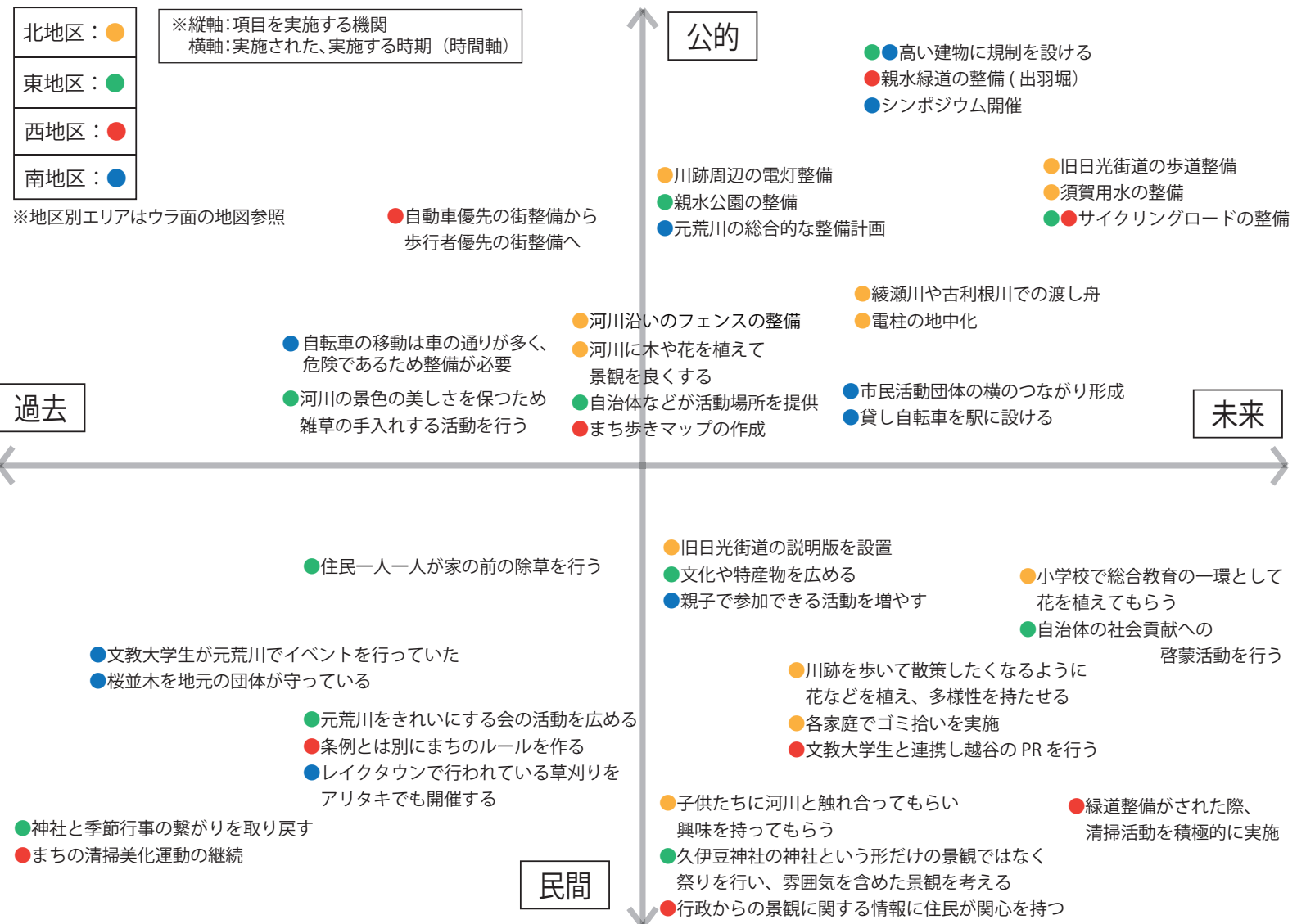
Programー第3回プログラムー

13:00	開会のあいさつ&懇談会の説明
13:15	本日の趣旨説明
13:45	第2回WSの成果報告
13:55	前回の成果確認 地区別アクションプランの検討
14:35	休憩
14:45	グループ発表(住民代表)
15:05	市全体のアクションプランの検討
15:30	グループ発表(住民代表)
16:00	講評・閉会の言葉・解散式

Matxiー各地区の要素の抽出ー

各地区ごとに、各地区を構成・進展させるために必要な要素をWS内で抽出しました。

このマトリックスは、今後の景観計画・まちづくりを策定し越谷独自の都市の確立に活かしてゆくために視覚化しました。



Voice—地区別アクションプラン— ※アクションプランとは、市民主体の景観まちづくりの活動、官民共働による良好な景観形成に繋げていくものです。
 東西南北でグループ分けをし、「地区キャッチコピー」として各地区の景観まちづくりの目標像とその具体的な内容を話し合い、それを内容を整理し枠内に掲載しています。

□北地区（桜井、大袋、大沢、北越谷）

●地区キャッチコピー

「川の北地区・文教の北地区・知性と教養の北地区」

人工物系 … 新しい道、橋 ストリートファニチャー

- ◇しめきり橋には歩道橋が必要
- ◇休憩スペースを設置（ベンチなど）

自然系 … 維持管理が必要

- ◇河川を活用したまち歩きコース
→渡し舟を復活させる

今後は…

- ◇渡し舟を盛り込んだ、元荒川を中心としたコース
- ・体力がある人のコース
- ・体力がない人のコース（ショートカット）



□東地区（新方、増林）

●地区キャッチコピー

「緑や河川を活かした明るいコミュニティづくり
 ～水や緑を守り、今後に繋げるためにできる事～」

緑系

- ◇自宅の除草
- ◇河川の雑草刈り
- ◇休耕田を耕す
→キレイにしてイベントを！

水系

- ◇河川沿いのサイクリングロード
- ◇「元荒川をきれいにする会」の活動を広める

コミュニティ系

- ◇親子で遊べる公園づくり
- ◇花見や花火など誰でも参加できるイベント空間の整備
- ◇新住民も活動しやすい地域づくり

今後は…

- ◇一人ひとりができることをする → 市全体へ意識づける



□西地区（荻島、出羽、越谷）

●地区キャッチコピー

「アメニティなコンパクトシティ ～あなたのところに咲く越谷の花～」

- i 暮らしの景観（日常）
- ii 憩いの景観（非日常・レジャー）

i 地区内住民でのルール作り

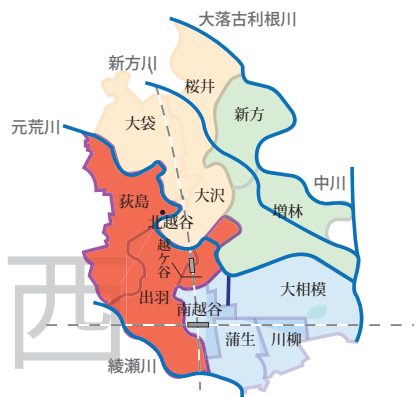
- ①景観ルートを巡るイベント開催
- ②ルールを作り、新住民に意識させる
- ③実際に市民に参加してもらう

ii 大吉調整池

- ◇ハーフマラソンコース
景観マラソン
- ◇コミュニティバスで周遊
- ◇見える景観（山など）のポイントを示す
→掲示板に写真を！

今後は…

- ◇イベントは行われているが、外部へのPRが足りない
- ◇各家・個人で意識する



□南地区（大相模、川柳、南越谷、蒲生）

●地区キャッチコピー

「ビックリーン元荒川プロジェクト～南地区独自の景観を残していくために～」

i 元荒川

- ◇元荒川を守る団体は存在しているが、つながりがなく非効率
→元荒川景観委員会の設立

iii 旧日光街道

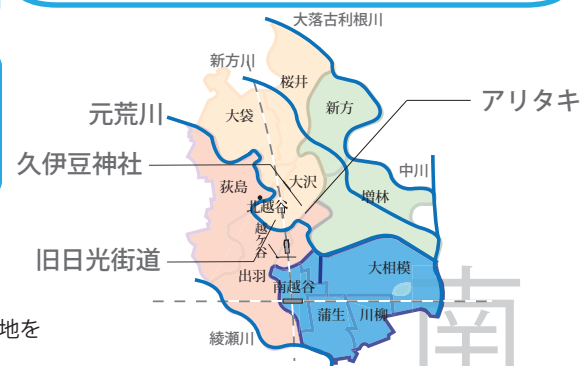
- ◇整備すれば、立派な景観材料となる
- ◇「思い（歴史）はあるが、建物が無い（歩道がない）」

ii アリタキ・久伊豆神社

- ◇両方を保全し、広域的に地域のポテンシャルを高めていく
→文化を守り、古き良き景観とする

今後は…

- 「サイクリング施設の設置」
- ◇i～iiiに訪れ、体験してもらう
- ◇レイクタウンと活性化していない市街地をサイクリングコースでつなぐ



mpression参加者の感想—

景観について従来の認識が払拭しました。新しい出会いと学生の新鮮な意見が貴重でした。

改めてWSが重要ではないかと感じた。今後、この意見がどのように形となっていくのか楽しみである。

夢が夢で終わらせないように今後、現状分析をしていく機会が必要かと思いました。夢ばかり語っていても、現実の変化に対応できないと思います。

今回までに出された意見を取りまとめて市民へアピールする仕組みを考えて具体化してもらいたい。

地元に愛着を持てるような街づくりに少しでも協力していきたい。